

# ふらっと.come!

令和7年8月27日 第90号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会

基幹相談支援センター「ふらっと船橋」

〒273-0021 船橋市海神1-31-31 ジュネス海神101

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776

HP <http://flat-funabashi.com/>

Email [flat-funabashi@key.ocn.ne.jp](mailto:flat-funabashi@key.ocn.ne.jp)



## 知ること、経験すること。

基幹相談支援センター  
統括所長 清水 博和



残暑お見舞い申し上げます。

先月に県内(山武エリア)の高等学校で行われている千葉県主管である高等学校内における居場所事業「校内居場所カフェ」に参加させて頂きました。基幹相談支援センターがこの様な事業に参加する機会は少なく、担当の中核地域生活支援センターへお願いし体験して来ました。

生徒数は340名ほどに対して、スタッフ20名(大学生ボランティア含)に生徒からもお手伝い頂き盛況でした。このカフェを開催する目的に、高校の育てたい人材像である「グローバル人材の育成」の活動の一環とする・校内居場所カフェを通じ「SDGs」、地域づくり、食の大切さや孤立、孤独の解消、交流の重要性などを学ぶ。などいくつかの目的に沿って4年の実績を積み重ねてきています。支援機関も圏域内の計10団体以上が関わり、協働して準備や当日の役割を担っていました。参加させて頂いた身分ですが「とても楽しい時間」というのが印象でした。大勢の高校生がフロアに溢れ、屋台に並びそれぞれがひと時を過ごしている光景は普段の業務では目に出来ないものでした。学校関係者の方々も参加され、校長先生ともお話をさせて頂きましたが、何だか数十年ぶりに過去を思い出した様な緊張?も味わいました。

この船橋においても、中核センター事業ではありませんが1校での開催は聞いておりますがさらにこの事業が拡大されることを祈念し、当センターでもお手伝いできることがあればと。(※グローバル人材・グローバルとローカルを組み合わせた造語として用いる)

船橋障害者相談支援事業所連絡協議会(FAS-net)情報公開の一旦としまして、計画相談支援における対応状況を、事務局である当法人のホームページに掲載を7月より開始しております。これまで、配布若しくは船橋市のホームページの閲覧から相談支援事業所へ順にお問い合わせをされ、受け入れ状況を個々に確認されていたと思います。今回の公開につきましては、新規受け入れ等の空き情報が分かる形で掲載はしております。集計につきましては各事業から提出頂く実施報告書をもとに作成しますので、前月末の情報になります。また、回答が空欄の事業所につきましては報告書未提出により状況の記載が出来ないことから、お手数でも事業所へ直接のお問い合わせをお願いする点はご了承下さい。

一覧表の検索につきましては、「ふらっと船橋」のホームページから「FAS-net」をクリック、「計画相談可否情報」をクリックするとPDFファイルがありますのでそこを開いて頂くことで情報の一覧が見られますのでご参考にして頂ければと存じます。

まだまだ暑さ厳しい折、皆様お身体ご自愛下さい。

よろしくお願ひいたします



船橋市役所 障害福祉課  
認定審査係長 鈴木章司

日頃より、船橋市の障害福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
本年4月に障害福祉課認定審査係長として着任いたしました鈴木と申します。

認定審査係では、認定調査・審査会の運営、障害福祉サービスの申請審査と認定、移動支援・日中一時支援等の審査・認定・支払い、さらに制度調査などを行っております。私は、裏方の事務作業に従事しておりますが、常に障害をお持ちの当事者の方々や現場の皆様のことを念頭に置いて業務に取り組もうと考えております。

私のこれまでの経歴は、直近では交通安全関連業務に従事し、その前は児童手当や子ども医療等の制度運営、さらにその前は医療センターでの医療機器購入業務を担当しておりました。また、平成22年度までは民間の医療機関で同じく医療機器購入担当として勤務しておりました。

このときの経験で印象に残っている2人の障害児のことをお話します。どちらも10歳くらいで、意思疎通がほぼできず、寝たきりで寝返りもできない状態でした。2人とも退院時に私が運転する病院の車で自宅まで送ったのですが、1人は、家族総出で、隣の人まで家の前に出てきて「おかえり」と笑顔で迎えました。もう1人は、誰もいない暗い部屋にお母さんと無言で帰宅しました。ちなみに後者はひとり親家庭でした。おそらくこの時から、将来的に障害児・障害者の福祉に携わりたいという思いを抱くようになったと思います。

初めて本格的な福祉の仕事、特に障害をお持ちの方々への福祉に従事することになり、喜びを感じると同時に、新たな分野で、一日も早く皆様のお力になれるよう、日々研鑽を積んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

FAS-net これからの歩み

船橋障害者相談支援事業所連絡協議会（FAS-net）会長  
千葉県福祉援護会ヴェルフ藤原 佐賀麻実子

本年度より船橋障害者相談支援事業所連絡協議会（FAS-net）の会長を務めることになりました佐賀麻実子と申します。前会長の宮代様には長きに渡りご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。私自身はまだ不慣れな点も多く、至らぬ点もあるかと存じますが、会員の皆様のご支援ご協力をいただき、ワンチームで取り組めるよう精一杯努めてまいります。

さて、この度FAS-netとして船橋市内の障害者（児）計画相談に関する2回目のアンケートを実施させていただきました。今回も貴重なご意見を寄せていただき、ありがとうございました。改めて計画相談支援の目的とは何か、相談支援専門員の役割とは何かを考えさせられる結果でした。そして相談支援の質とは何を基準に判断し、どのように質を担保するのかという正解のない問いに直面することとなりました。しかし、まずは相談支援としてやるべき基本事項をクリアできるように、協議会としても課題意識を持ち主体的に取り組むと共に、不満足の原因については少しでも解消できるように、行政の方にもご相談しながら誠実に対応していきたいと考えております。

また昨年度より、FAS-netでは定期的に事例検討会を開催しており、支援者同士の連携の大切さを改めて実感致しました。私自身も対人援助職としてゆらぎ、葛藤を感じる日々ではありますが、より良い相談支援の実践を目指し、真摯に向き合っております。

これからも地域の関係機関の皆さまと協働で、顔の見える関係性を構築していけるよう切磋琢磨しながら取り組んでまいりますので、今後ともFAS-netをよろしくお願ひ申し上げます。